

## 朝のおはよう楽しいひととき

校長 武井 正明

昨日昼休みは久々に体育館に出してみた。

一体では2年生が賑やかに遊んでいる。屈託ない笑顔を見ていると嬉しくなる。男子は敵わないから何とか相手してもらえそうな女子グループに声を掛け、バレーで遊んでもらい、いい汗をかかせてもらった。

そして今朝も3月の陽気。生徒玄関の雪も殆ど消えている。今日も穏やかな日になれば願いながら、朝のおはようが始まる…。

玄関先で、僅かに残った氷を脚で撫でていた2年生の女子生徒がいた。

「滑るなよ～」 「もっと滑りたい」 …やっぱり反応が若い。若いっていいな。

その彼女が、ふと別の登校する人たちを見て、「青春してる…」と呟いた。

はは～ん。そうかそうか。でも私から見ると彼女こそ青春時代の真っ最中。キラッキラの中学時代ど真ん中。よせばいいのに、ついつい即席恋バナ相談となった。

「いいか。絶対焦っちゃダメ。ひたすら自分を磨くの、高めるの。そうすると必ずいいのが掴まっから!!」と朝っぱらから熱く進言する。そう、彼女たちは俺の孫みたいなものだ。絶対にしあわせになってもらいたい。なってもらわんきゃ困る。ヘンなのに捕まって不幸な人生だけは、絶対に歩んでほしくない。大事な親御さんの宝物だ。だからついつい真剣になってしまう。

あなたは自分のキラキラがわかっていない。実は今あなた、十分輝いていますよ。そこからさらに努力して、天海祐希みたいに、外見じゃなくて内面からしっかり磨くのを。勉強も運動も、いろんなことに一生懸命頑張る。その姿が人を魅力的にするのです。惹きつけるんですよ。そうなった時のあなたには、素晴らしい未来が待っているから大丈夫。

そんなことを言っていたら、何人かまた集まってきた。これは思いがけず、楽しい時間になってきたぞ。

「校長先生、こんなこと聞いていいですか？」 「いいですよ～」 「元カノ何人ですか？」

「もうね、フラれてばかりの人生だから、何人もなんているわけないっしょ」

「でもね、これでもおばあちゃんとかには、結構人気あるんだよ」 「わかる気がする～」

こんな会話で元気をもらって一日が始まる。ますます吉中の子どもたちのために頑張るぞって気持ちが強くなる、大切なひとときなのです。

今日は私立受験の2日目。多くの3年生が闘っている。

春まで、まだまだ山は続く。もうひと踏ん張りふた踏ん張り、ガンバレーっ!!